

平成 30 年度

後 期 日 程

# 小 論 文 (40 分)

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に志望コース名及び受験番号を記入しなさい。
- 3 解答用紙の※を付した欄には、何も記入してはいけません。
- 4 解答は、小論文解答用紙を用い、400 ～ 500 字以内にまとめなさい。
- 5 選択解答する課題の番号を解答用紙の選択課題番号欄に必ず記入すること。

(例)

選択課題番号
1

- 6 解答は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
  - 1) 解答は横書きで、文字はていねいに、はっきり書くこと。
  - 2) 句読点は、1 字として 1 マスに入れること。
  - 3) ローマ字、数字を使用するときは、マス目にとらわれなくてよい。
  - 4) 改行はしないこと。
- 7 下書き用紙は回収しますが、採点は解答用紙のみで行う。
- 8 試験終了後、この問題冊子は持ち帰りなさい。

# 小論文課題

次の3つの課題から1つを選択して解答すること。

- (1) スマートフォンに搭載する新機能として、① 80か国の言語をリアルタイムで高精度の音声翻訳ができる、② 一度のフル充電で一か月間の使用が可能になる、③ プロジェクターのように動画や画像を外部に映せる、の3案がある。3つの中で最善と考えるものを選び、それが最善であると考え理由を他と比較しながら論述しなさい。
- (2) 農業は食料供給を支える重要な分野であるが、近年の気候の変化や農業就業人口の減少などの問題を抱えている。日本の食料自給率を向上させるため、工業技術は農業分野に対してどのような貢献ができると考えられるか、その理由とともに論述しなさい。
- (3) 自動運転技術を搭載した自動車の開発が世界的に進められている。自動運転技術が社会および個人に与えるメリットとデメリットをそれぞれ挙げ、それに基づいて自動運転技術に対する自分の意見を論述しなさい。